



□ 広済寺と喜多町あたり

「どっこい喜多町広済寺」。昔は通りが今よりも急であったことから親しみを込めてこのようにいわれたらしい。広済寺は、天文17年(1548)大導寺政繁が川越在城のときに菩提寺として建立した曹洞宗の寺院。札の辻から南、南町ともにかつて城下の中心だった北町改め喜多町は、現在は商家の数が減ってしまっているものの、明治26年の川越大火を免れた地区であり、江戸時代に建てられた町家の存在とともに往時をしのばせる。

